

# ◎西新宿の新宿ニューシティホテルが再生 —いちご、築39年を宿泊特化に全面改修

いちごが改修をすすめてきたホテル「THE KNOT TOKYO Shinku」(408室)が、8日グランドオープンした。同社が進めるデザインホテルの第2弾。

同物件(東京都新宿区西新宿4-31-1)は、都営地下鉄大江戸線・都庁前駅から徒歩4分。2年前、いちごが生保会社から築39年の旧新宿ニューシティホテルを取得し、プロジェクトを開始。建物構造躯体を残して解体撤去し、耐震補強と給排水空調設備を新設したうえで全館リニューアルした。低稼働であった宴会場の客室化等による収益化、建物の長寿命化、施設の省エネ化も図った。改修費は約40億円。

新宿中央公園に面した立地を活かし、「公園のような開かれたホテル」をめざし、客室は公園をイメージしたグリーンを基調としシンプルなデザインとした。客室の内訳はツインが258室、ダブルが109室、トリプルが33室、そのほかデラックスが6室、段差をなくしたユニバーサルデザインが1室、客室面積130㎡、テラスが130㎡のスイートルームも用意した。平均客室単価は1万4000〜1万5000円。

1、2階はカフェ、レストラン、ラウンジ、ロビーを立体的につなぐウェルカムスペースとし、開放的な時を過ごせる空間とした。

同社は、心を込めて既存不動産に新しい価値を創造する、心築(しんちく)を軸とした事業モデルを展開している。中期経営計画に新規事業の創出として、国策でもある「観光立国」の支援に繋がる新たなタイプのホテル提供を掲げている。なお、同シリーズを20年に札幌と広島でオープンする予定。